

平成 17 年 10 月 21 日

3 号機使用済燃料プール内で発見されたテープ片の回収について

当所 3 号機は定格熱出力一定運転中ですが、平成 17 年 10 月 19 日午後 4 時頃、I A E A *¹ 査察のために使用済燃料プール内に保管されている M O X 燃料 *² 1 体をプール内で移動していたところ、当該燃料集合体の下部にテープ片らしきもの 1 枚（長さ約 10 cm）が付着していることを目視にて発見いたしました。（平成 17 年 10 月 19 日お知らせ済み）

その後、回収作業を行い、ビニール製の粘着テープ（長さ約 44cm×幅約 5 cm）を回収いたしました。

調査の結果、当該テープ片と同様なビニール製テープについては、平成 11 年以降は原子炉建屋内でのシート養生に使用しておらず、また、異物混入防止対策を徹底していることから、当該テープ片は平成 11 年以前に使用済燃料プールに混入し、プール内の水の流れにより当該燃料集合体の下部に付着したものと推定いたしました。

今後とも、引き続き異物混入防止対策を徹底してまいります。

以 上

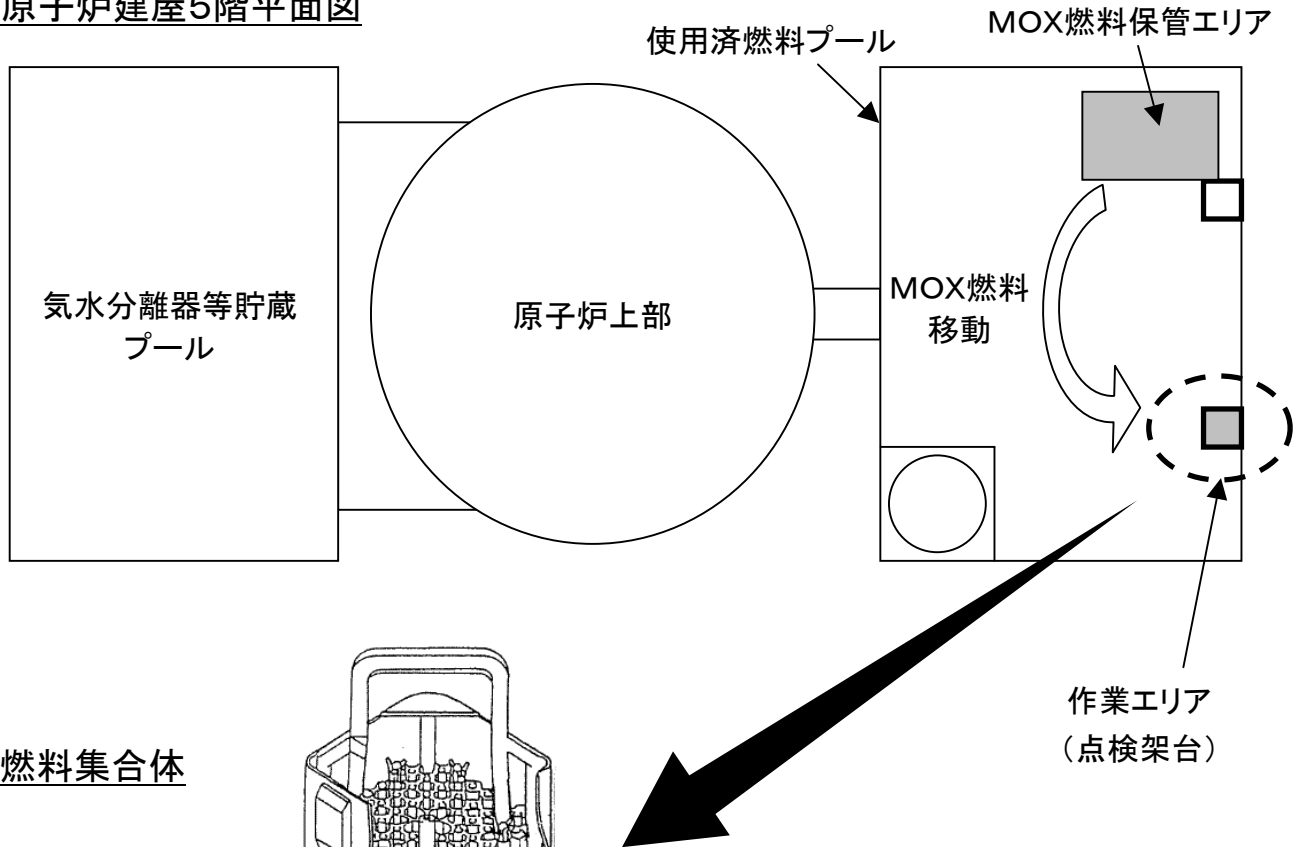
* 1 I A E A

原子力の平和利用を通じて世界の平和と健康と繁栄に貢献することを目的に設立された国際機関であり、原子力が軍事目的に利用されないための保障措置の一環として原子力発電所における燃料の査察などを行っている。

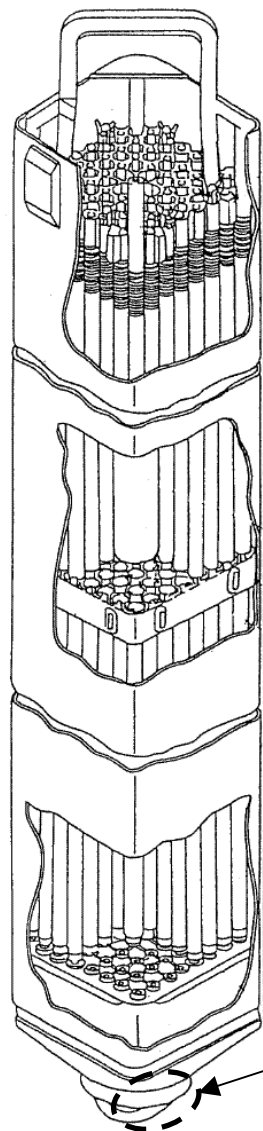
* 2 M O X 燃料

ウランと使用済燃料から取り出したプルトニウムを混ぜて作った燃料。

原子炉建屋5階平面図



燃料集合体



テープ片発見箇所

3号機 使用済燃料プールでのテープ片発見・回収概略図